



歌い継ごう 交響詩岩見沢

皆さん、交響詩岩見沢を知っていますか。小・中学校で歌ったことがある方も多いかもしれません。

わがまちの交響詩があるのは全国的にも珍しく、とても貴重です。市民の財産である交響詩岩見沢を歌い継いでいきましょう。

問合先 市教委生涯学習・文化・スポーツ振興課（4西3 であえーる岩見沢4階）

☎ 35-5129

交響詩岩見沢の成り立ち

交響詩岩見沢は岩見沢村が設置され90年、市制が施行され30周年を祝し、昭和48年に郷土の詩人である加藤愛夫氏の作詞、北大交響楽団常任指揮者 川越守氏の作曲により「ふるさと岩見沢」の賛歌として完成しました。

歴史を受け継ぎ、未来への発展を期待し「わがまちへの夢と希望が」序章 コタン、「第一章 村の誕生」、「第二章 故郷の栄光」、「第三章 北国の象徴」として描かれています。

初演となる昭和49年の交響詩岩見沢披露演奏会以来、市民の文化祭や中学校の卒業式などで発表され、これまでに歌い継いだ人は延べ約15,000人に達しています。

交響詩岩見沢を楽しもう

家庭で

YouTubeのHamanasuArtチャンネルで、交響詩岩見沢のファイナルコンサートの映像を楽しめます。



イベントで

音と映像で楽しむ『交響詩岩見沢』2022

入場無料

昭和48年の完成から令和元年のファイナルコンサートまで、多くの市民に歌われてきた交響詩岩見沢の世界に触れてみませんか。

日程	内容
3月16日(水)	【CD再生】日本コロムビア録音・交響詩岩見沢（1993年）
17日(木)	【ビデオ上映】札幌交響楽団演奏会 まなみーる DE クラシック（2013年）
18日(金)	【ビデオ上映】ファイナルステージ 交響詩岩見沢よ永遠に（2019年）

時間 午前10時30分、午後4時30分、午後6時30分

場所 まなみーる文化センター（9西4）

問合先 まなみーる市民会館（9西4）☎ 22-4233

※新型コロナウイルスの影響により中止となる場合があります。

関連企画

交響詩岩見沢写真展

日程 3月1日(火)～18日(金)

場所 まなみーる市民会館